

経営数学		講師 竹内 芳衛	
科目カテゴリ	経営・経済コースの選択必修科目	科目ナンバリング	23001102

1. 授業のねらい・概要

経済学，経営学などの分野で用いられる，さまざまな数学的な考え方や数学的手法を理解し，応用するための有効な数学の知識を学ぶ。

2. 授業の進め方

講義形式

3. 授業計画

1. 1次方程式，2次方程式	9. 数列の極限
2. 1次関数，2次関数	10. 指数関数
3. 関数の最大化	11. 対数関数
4. 分数関数	12. 関数の極限
5. 無理関数	13. 微分の定義
6. 関数の生成，逆関数，合成関数	14. 微分の経済学への応用
7. 制約があるときの最適化問題	15. 微分と関数の増減
8. 等差数列，等比数列	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

授業前に教科書の該当する部分に目を通しておくこと（各回1時間程度）。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

標準解答若しくは解説を提示し，又は本人解答を返却する。

6. 授業における学修の到達目標

1. 経営学などの分野で用いられる数学的な考え方の基礎を理解できるようになる。
2. 経営学などの分野で用いられる基本的な数学的手法を扱うことができるようになる。

7. 成績評価の方法・基準

定期試験の点数（80～100％）と平素の活動状況（0～20％）で評価する。

8. テキスト・参考文献

丹野忠晋．経済数学入門：初歩から一歩ずつ．日本評論社，2017．

9. 受講上の留意事項

履修者の学修時間が「学則が規定する学修時間（2単位90時間）の三分の二（60時間）に満たない」と科目担当者が判断した場合には，「本科目を履修した」といえないので，定期試験を受けられない。

出席1回について，学修時間は6時間（授業での学修が2時間，授業外の学修が4時間）を算入する。

欠席の場合，授業での学修は0時間であるが，「証明書等を完備した欠席届が，欠席後最初の授業出席時までに提出された場合」に限り，授業外の学修は2時間または4時間（時間数は欠席理由等で変わる）を算入する。

遅刻・早退の場合，授業での学修は0時間または1時間として算入することがある。